



四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

西予市議会だより

かけはし

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして



第76号

2023.4.20 発行

令和5年 第1回 定例会



高校生と議会との意見交換
R5 年度予算ここに注目
所管事務調査報告

5
5

特集

高校生と議会との 意見交換会

市内3校の生徒の皆さんと、意見交換会を行いました。西予市のまちづくりはどうあるべきか、これからの将来を担う高校生の多種多様な貴重なご意見を頂きました。今回は1月30日に議場で発表をしていただきました。

■次世代の西予市を担う高校生と、議員が意見交換を行い様々な意見をいただくことで、議会活動に反映させることを目的とし令和2年度、3年度と行ってきました。

3回目となる令和4年度は、議員が各常任委員会で構成する班に分かれて、宇和高校三瓶分校、宇和高校、野村高校の3校を訪問し意見交換を行いました。

■生徒も議員も始めはお互いに緊張した様子でしたが、いずれの学校でもたくさん意見を出してもらったことができた大変有意義な意見交換となりました。

■高校生のみなさんから頂いた貴重な意見、提言が活かせるよう議会として取り組んでまいります。頂いた貴重な意見、提言はとりまとめの上、市に提出いたしました。回答については次号に掲載いたします。

■今回は、各校での意見交換会を経て、少しでも議会の雰囲気を感じてもらうため、出された意見、要望を各校2名の生徒が議場にて発表しました。

■直接市長をはじめとした理事者へ質問、要望を行い、その場で答弁があり、再度の質問や意見ができることで、とても活発な意見交換でした。



宇和高等学校三瓶分校にて (令和4年12月12日)

■**地域活性化のための施設整備について**
旧三瓶支所跡地にスポーツができる場所や、飲食店が入れるスペースがあれば若者も集まりやすく地域活性化につながるのではないかと。

■**情報発信について**
スローライフが求められる近年、三瓶地区は自然豊かで良いものがたくさんあるので、動画作成や、記事にするなどして都会にどんどんPRしてほしい。

■**災害への備えについて**
屋根付きの避難場所や屋内の施設が少ない。
安心安全に避難できる避難場所の整備を行ってほしい。

■**子育て環境について**
将来的に西予市に帰ってくる時に、家族を持つと思うが、家族で子育てしやすい環境整備や支援を充実させてほしい。



宇和高等学校にて
(令和4年12月19日)

■三瓶分校の活用について
令和6年度末に閉校となるが、廃校舎やグラウンドを西予市として有効活用してもらいたい。

■商品の共同開発・販売について
例えば商店街のパン屋さんと共同して、生物工学科の栽培した野菜を使って商品開発するようなサポートをしてもらいたい。

■大学進学に関する補助金の拡充について
ひとり親家庭など経済的に厳しい世帯の子どもが進学する場合、負担を減らすために県外へ受験に行くときの交通費など、市独自の補助制度がほしい。

■高校生が参加できるイベントの開催について
令和5年11月に3校での料理対決が予定されているが、料理対決にとどまらず、広がりをもったもので継続できるように、これからもサポートしてほしい。

■西予市のお金(予算)の使い道について
市の行事や事業などはどうやって決めているのか。また、何に使われているのかわからない点も多いので教えてほしい。

野村高等学校にて
(令和4年12月27日)

■公営塾について
専従している先生が一人しかいないため曜日によって学びたいと思う科目を学べない。曜日ごとに決まった科目を教える体制と、専門的な分野を教えることのできる先生を増やしてほしい。

■勉強する場所について
気軽に勉強できるWi-Fi環境の整った場所がほしい。

■街灯の増設について
野村町や城川町は街灯が少なく、通学路に街灯がない場所が多く、自転車のライトだけでは事故を起こさないか不安である。街灯の設置や県への働きかけをしてほしい。

■道路の清掃について
道路に石や落ち葉など落ちており、滑りやすく危険を感じることもある。安全面を考慮した整備や清掃を行ってほしい。

■公共交通について
地域によって、交通の便が悪く通学が不便である。地域づくり活動センターで高校等への送迎を行ってほしい。

令和5年度予算 ここに注目!!

 <p>源 正樹</p> <p>人口減少を克服する行財政運営を 少子化対策強化元年 官民連携で難局打破</p>	 <p>竹崎幸仁</p> <p>今こそ二次救急体制の確立を！ 西予市民の安心と安全を 確かなものに！</p>	 <p>山本英明</p> <p>少子化対策強化元年へ 結婚、妊娠、出産、子育てへの 手厚い補助を！</p>
 <p>中村敬治</p> <p>森林経営管理事業 地球温暖化防止で持続可能な社会を</p>	 <p>二宮一朗</p> <p>地域づくり活動センター事業 地域の未来に希望ある 住民自治に参画しよう</p>	 <p>井関陽一</p> <p>生涯学習推進庶務事業での交流 若者による異業種交流での プラス効果に期待</p>
 <p>酒井亨之吉</p> <p>地域医療体制の構築確保の活動 急がれる二次救急の集約と 体制の見直しは？</p>	 <p>森川一義</p> <p>消防本部署庁舎建設事業 緊急車両の出入等どのような 設計になるのか</p>	 <p>兵頭 学</p> <p>少子化対策強化元年について 0歳から18歳までの さらなる子育て支援を</p>

令和5年度予算 284億7000万円を可決

議員 18 名が注目する予算は



 <p>和気数男</p> <p>人口減少対策、少子化対策 人口構造の若返りを 目指す戦略の構築を</p>	 <p>副議長 信宮徹也</p> <p>人口減少対策関連予算 少子化対策強化元年 人口減少に歯止めを！</p>	 <p>議長 小玉忠重</p> <p>高校魅力化事業 高校の存続を地域住民が応援する</p>
 <p>加藤美香</p> <p>本庁集約化による行政スリム化 組織再編による地域づくり 活動センター運用</p>	 <p>宇都宮俊文</p> <p>地域づくり活動センター推進事業 センター移行に大事な1年 協働で活力を</p>	 <p>宇都宮久見子</p> <p>児童公園整備事業 子どもたちが喜ぶ公園に なることを期待</p>
 <p>佐藤恒夫</p> <p>住宅土地活用事業 子育て世代に定期借地権付 住宅で人口増を</p>	 <p>河野清一</p> <p>地域づくり活動センター推進事業 各地域、特色のある センターづくりに！</p>	 <p>中村一雅</p> <p>地域づくり活動センター推進事業 地域づくりは人づくり 活性化に期待</p>

令和5年
第1回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会 期 2月22日～3月16日
会議期間 23日間

第1回定例会の議案は

令和5年度当初予算	10件
令和4年度補正予算	11件
財産譲渡	1件
財産貸付	4件
条例制定	2件
条例改正	14件
道路認定関係	1件
土地改良事業の施行	1件
計画変更	1件
議員発議(条例等制定・改正)	3件
陳情	1件
意見書	1件

全ての議案と結果は、P10をご覧ください。

Pick up 1
少子化対策強化元年、少子人口減少対策及び子育て世帯支援に重点的に取り組みます

〈議案第36号 西予市一般会計予算〉

重点的な取り組み内容

① 保育所等利用料の無料化の拡充

現行の第3子無料化の所得制限を撤廃する。
また、同時入所する第2子以降においても所得制限を設けず、無料化を拡充する。

無料化影響額 約2千万円

② 子育て応援事業

中学校進学の子を持つ世帯を対象に、進学準備応援金として1人1万5千円を支給する。

予算額 390万円

出産時に夫婦ともに29歳以下であった世帯に対して、若年出産世帯応援金として、出産後に要する経費の一部を助成する。

予算額 400万円

③ 子ども医療費助成事業

保険診療による医療費自己負担分の全額助成を18歳まで拡充する。

予算額 924万円

④ 高校魅力化事業

市内高校生徒数の積極的確保に努めるため、市内高校に遠距離通学する生徒に対し通学費を助成する。

予算額 300万円

⑤ 住宅土地活用事業

移住定住・子育て支援として、定期借地権を設定した土地の貸し付けを行うほか、住宅取得時の補助金、子育て応援金を支給する。

予算額 2070万円

⑥ 児童公園整備事業

子育て環境の充実を図るため、令和4年度に引き続き大型遊具等を備えた児童公園を整備する。

予算額 1億3471万円

⑦ せいよ将来人口究明・対策プロジェクト

合同就職説明会、地方移転を計画する企業の市内誘致、スキルアップミーティング〈若者の相互交流の場づくり〉などに取り組む。

予算額 281万円

令和5年度予算総額 491億7494万円

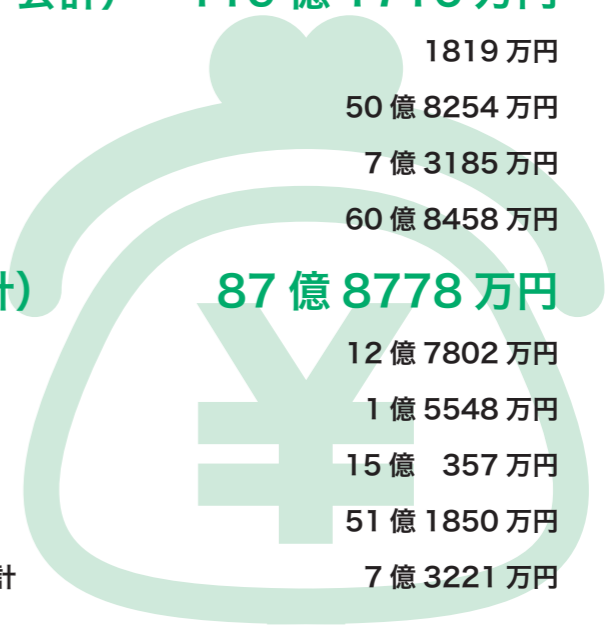
一般会計当初予算 284億7000万円

特別会計当初予算(4会計) 119億1716万円

- 育英会奨学資金貸付特別会計 1819万円
- 国民健康保険特別会計 50億8254万円
- 後期高齢者医療特別会計 7億3185万円
- 介護保険特別会計 60億8458万円

公営企業会計(5会計) 87億8778万円

- 水道事業会計 12億7802万円
- 簡易水道事業会計 1億5548万円
- 下水道事業会計 15億357万円
- 病院事業会計 51億1850万円
- 野村介護老人保健施設事業会計 7億3221万円



厚生常任委員会



15件の議案を審査

- Q** 子育てにかかる若年出産世帯応援事業で対象を29歳以下にした理由は
- A** 結婚年齢の全国平均(女性)が29歳であり、国等では29歳以降に結婚した場合を晩婚化と言われ、県の交付金基準も29歳である。
- Q** ねんりんピックの西予市における概要は
- A** 開催種目は軟式野球である。県内4市町で共同開催とし、令和5年10月28日から31日までの期間開催する。実行委員会負担金として543万7千円を予算計上している。併せておもてなしコーナー、健康づくり教室等を開催する。
- Q** 避難行動要支援者管理運営事業にかかる個別避難計画の名簿策定は
- A** 自力避難ができない真に支援の必要な方を避難行動要支援者として整理し、個別計画を速やかに策定できる仕組みに変更した。
- Q** 令和5年度西予市病院事業会計予算のうち、野村病院における予算規模縮小の要因は
- A** 入院患者の受け入れには夜勤のできる看護師の確保が必要である。しかし、夜勤のできる看護師が減少したことにより入院患者を従前ほど受け入れることができなくなってきたこと、それに伴い、収益が減少すると見込んでいる。

9件の議案と陳情1件を審査

- Q** 財産の無償譲渡内容は
- A** 野村ダム右岸のロツジ4棟、炊事棟、トイレの建物6棟のみを譲渡、土地は西予市所有のままである。30年豪雨により被災しているが、建物を相手方が譲渡後に修繕して利用する。
- Q** 地域おこし協力隊の配置人数と仕事内容は
- A** 地域に根差した林業施策を行う人材育成を目的に、野村町惣川地区へ3名募集する。隊員は、愛媛県林業研究センターで行うフォレストワーカー養成研修への参加や惣川地区の林業事業体にて技術習得を行い、将来的に林業事業体への就業を目指していく。
- Q** 農地の権利取得に求められていた下限面積が撤廃された後の対応は
- A** 新規就農者や家庭菜園の方も農地が所有できることになり、農地の売買や賃借が促進されると期待している。
- Q** 農地の権利取得に求められていた下限面積が撤廃された後の対応は
- A** 一方で、投機的な目的で農地を所有する動きも考えられるため、取得される方の農業に対する意欲や、農地をきちんと管理できるのか、地域営農に支障がないかなど、農業委員と慎重に審議して対応していく。
- Q** 「森林・林業基本計画の推進並びに林野関係予算の確保及び拡充を求める意見書の提出についての陳情第1号」
- A** 西予市は森林面積が75%以上あり林業の活性化は喫緊の課題である。林業の現状と将来を見据えて、陳情書に書かれていることはもつともであるとの意見が出され、賛成多数にて採択とした。

産業建設常任委員会



所管事務調査 児童公園建設予定地を視察

宇和町稲生にある水すまし公園を視察し子育て支援課の説明を受けた。
児童公園は木製大型遊具をメインとする施設で、総事業費は1億3684万円、工期は令和5年7月21日までで、令和5年8月上旬に開園予定である。どんぶり館との相乗効果に期待する。

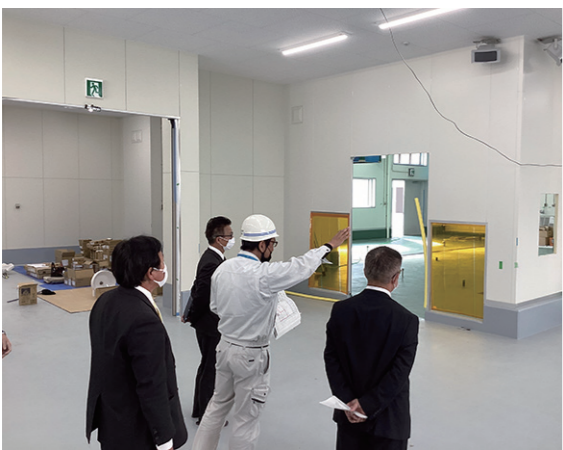


児童公園完成予想図CG

所管事務調査

西予市明浜柑橘加工施設を視察

指定管理者は、(株)あけはましーサイドサンパーク。総事業費9億6855万6千円の柑橘加工施設を視察。
大型冷凍庫が備えてあり、インライン方式とベルト方式を併用し、メインはインライン方式で、日量最大24tの原料を処理することが出来る施設であり、今後の明浜柑橘産業の発展に期待する。



明浜町高山の柑橘加工施設

報告



総務・厚生・産業建設の3つの常任委員会で、それぞれテーマを決め、任期一年を通じて所管事務の調査研究を行いました。

● 総務常任委員会

● 調査研究テーマ

○「移住・定住について」

● 内容

山梨県都留市、北杜市に視察に行き、移住定住に向けた取り組みについて支援制度の説明を受けた。

また、地域おこし協力隊OB OGとの意見交換会を開催し活動内容や移住した経緯などの意見交換を行った。

● 意見交換会で出された意見（抜粋）など

地域の方たちの移住者に対する受け入れ体制や理解度が高いから、そのまま定住される方が多い。

子供の医療、保育体制を充してほしい。

農業に関心のある人は多く、移住を考えるきっかけになって

いる。

保育士、看護師、介護福祉士などの資格者に田舎への移住を提案するのほひとつの方法ではないか。

● 市への提言

移住者が増加した理由や移住元、年齢層などの基礎的な事項の分析が行われておらず、今後は分析結果に基づいた的確な事業実施を行うこと。

地域おこし協力隊などによるSNSなどを活用した積極的なPRによって、西予市の魅力を広く情報発信する取り組みを行うこと。

● 厚生常任委員会

● 調査研究テーマ

○医療の確立と二次救急の現状とあり方

● 内容

厚生労働省と公益社団法人地域医療振興協会で視察研修を行った。

また、西予市医師会との意見交換会を行った。

● 視察研修・意見交換会で出された意見（抜粋）など

視察研修では、多くの自治体が病院の整理等で難航している。地方では何でも対応できる総合専門医が必要とされるが不足している。運営委託に関しては、拠点となる病院・診療所があればネットワークが作れ、運営がスムーズであることも学んだ。特に、現状の改革が重要課題であり、財政状況と住民の理解の

必要性を力説された。

医師会との意見交換会では、子どものインフルエンザワクチン接種費用の助成、開業補助金制度の拡充、両市立病院の医療従事者確保と離職防止対策、南予圏域の医療の連携化が話題となり、熱心な意見の交換ができた。

● 市に対する提言

二次救急の一本化の推進
市民病院を拠点とし、野村病院をどう生かしていくかの検討と地域住民への丁寧な説明が重要である。あわせて、三瓶地区への細やかな説明も同様と考える。また、救急体制、巡回診療車の運営においては、医師会とのさらなる連携が重要である。

● 産業建設常任委員会

● 調査研究テーマ

「みどりの食料システム戦略について」

西予市で再生可能エネルギーの事業化が実現できるのかを研究

● 内容

国や県の担当者から説明を受け、畜産バイオマス発電、木質バイオマス発電が可能かどうか調査研究を行った。

また、実際に取り組んでいる民間企業へ赴き、畜産バイオマス発電の富士山朝霧バイオマスプラントや木質バイオマス発電の内子バイオマス発電所を視察研修した。

● 意見交換会で出された意見（抜粋）など

畜産バイオマスについては、当市は、県内有数の畜産地帯であり、ポテンシャルはあるものの、広い地域に畜産農家が点在しており、ふん尿の搬入の問題や液肥の受入先の確保などの課

題が考えられる。

木質バイオマス発電については、森林面積は広大で燃料となる木材も多くあるが、林業従事者の不足等により面積に見合った木材を搬出出来ない。

● 市に対する提言

畜産バイオマス発電については、今後の西予市の畜産農業を考える上で、将来の畜産農家の団地化実現に向けた調査研究を行うこと。

木質バイオマス発電については、林業従事者の確保が必要で、森林環境譲与税を活用し、林業従事者が増えるような取り組みを行うこと。

勝浦町議会・南あわじ市議会視察 議会だより編集委員会

日程及び視察先

令和5年2月9日～10日

徳島県勝浦町議会、兵庫県南あわじ市議会にて視察研修を行った。

視察内容

勝浦町議会では議会広報委員会を設置し5人の委員で議会だよりを編集している。民間事業者を編集アドバイザーとして委託している。また、モニター会議での意見を紙面に反映させている。読みやすい紙面構成のため写真や図をつけ見出しに方言を使うなど工夫をしている。

南あわじ市議会では編集の工夫として市民生活に関係の深い事項や具体的に申請のあった事項を重点的に取り上げ、市民に親しまれるよう工夫している。

一般質問のページにQRコード

これから

両議会とも当市議会だよりの編集と共通の認識があり、目指す方向性は一致していると感じた。また、タブレット端末を利用したりモート編集会議の開催や、市民モニターの募集など、まだ見習うべき点もあり、今後の検討課題としたい。



南あわじ市議会にて

● 一般質問

みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



佐藤 恒夫

Q 八幡浜地区施設事務組合からの脱退に向けた協議の状況は

A 令和4年4月に八幡浜地区施設事務組合共同処理事務検討協議会が設立され、これまで2回開催された。消防事業に係る分科会での協議では人員調整や財産処分等の協議を進められ、より具体的かつ専門的な検討を行う場合は消防同士による専門部会で慎重に協議をしている。

今後も、八幡浜地区施設事務組合消防本部の協力を得ながら、三瓶地区における切れ目のない消防サービスの実現に向け協議を進めているところである。

A Q

Q 西予市消防本部新庁舎建設の進捗状況は

A 令和4年6月より造成工事を開始し、現在の造成進捗率は約50%で、本年7月に造成工事は完成する。

今後のスケジュールは12月から庁舎建設に着手し、令和7年2月の完成を目指しており、供用開始は令和7年4月を予定している。



西予市消防本部新庁舎造成地（宇和町）

一般質問



加藤 美香

Q 宇和地区農業集落排水の公共下水道への統合について

A 農業集落排水施設は、平成8年度供用開始の永長地区から始まり、神野久、田之筋、中川、石城、多田、明間地区で、合計7地区が稼働している。

統合を進める理由は、現状のままでは農業集落排水施設の老朽化が進行し、修繕経費や今後の改築更新経費の増大が見込まれる。また、公共下水道では、処理能力の40%程度しか流入水量が無い状況である。統合により、経費削減が図られ、効率的な運用が可能になると考えている。



公共下水道宇和浄化センター（宇和町）

現時点では、老朽化が進行している、永長、神野久地区を令和5年度、その後中川地区を令和7年度に統合を予定している。その後は公共下水道宇和浄化センターの流入水量を見ながら、田之筋地区を令和9年度以降に統合したいと考えている。

一般質問



酒井 宇之吉

Q これからの財政状況を市民に理解してもらうための働きかけは

A 財政状況は非常に厳しい見通しであり、現在の財政規模を維持することは困難になり、市民サービスへの影響が出て来ると想定される。予算、決算等の情報は広報せいやホームページなどで伝えているが、より分かりやすい説明として財政状況を家計簿モデルに例えて説明し、市民の皆様の理解を得られるように検討していく。

A Q

公園遊具の内容は

地域づくり活動センター単位の公園遊具は、原則、ブランコ・すべり台・シーソーを計画している。どんぶり館横の建設中の



児童公園完成予想図 CG

児童公園の遊具については、0歳から1歳までの乳児や、身体に障がいを持った子どもも遊べる遊具を設置し、ユニバーサルデザインを取り入れている。また、高さ約7m、幅約30mの木製総合遊具のすべり台は上級生用が約3m、低年齢用が約2mの高さからすべることができる。

一般質問



二宮 一郎

Q 地域づくり活動センター組織が行う営利活動の財源の考え方について

A 交付金を活用した事業で得た収益は、決算書に利益が計上され、次年度にその利益を活用する場合は、繰越金額の内容が計上される。民間組織との連携事業は、市に報告を求めるものではない。可能なら、西予市内の事業所と連携で、効果的な地域づくり交付金の活用をお願いしたい。

活動で得た利益を積立て、独自の事業を展開されることや、寄附やクラウドファンディングでの資金調達を地域内で話しを進めていただきたい。

A Q

Q 子育て世代の移住・定住に、山村留学など独自の取り組みは

A 山村留学は、自ら生きる力を育てることを目的とした教育制度で、留学生やその家族との交流を通じ、地域住民や、子どもたちがふるさとへのよさを再発見する効果もある。交流・関係人口増加や、子育て世代の移住・定住の促進には、家族方式が即効性がある一つの手段として考えられる。西予市独自の取組が可能か調査研究を進めていきたい。



土居地域づくり活動センター（城川町）

一般質問



河野 清一

Q ギャラリーしろかわの収蔵品数とその評価は

A 収蔵している美術品の総数は、寄贈されたものを含めて610点、内訳は日本画が32点、洋画が157点、陶磁器やガラス工芸品111点、ブロンズ像等の彫塑32点、かまぼこ板の絵展覧会審査員の作品143点、その他リトグラフやデッサン等135点の多岐にわたる作品がある。

作品の評価は、購入時の金額が作品の評価額であると考えており、現在でも購入当時の価値があると考えている。



ギャラリーしろかわ (城川町)

A Q

自伐林家に対する支援は令和2年度に自伐林家ネットワークを立ち上げ、チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育の実施や安全装備への支援を行ってきた。

令和5年度からは国庫補助事業の「美しい森林づくり基盤整備事業」に取り組みこととしており、国、県、市の事業により森林整備への補助を行うことで、経営の継続を支援していきたいと考えている。

一般質問



中村 敬治

Q 持続可能な水道事業を目指すためには、水道料金の値上げが必要ではないか

A 水道料金収入は、人口減少に伴い、今後も減少していくと見込まれる。しかし、維持管理に関する費用は、電気代、人件費、資材費の高騰により増加している。水道事業のような公営企業では、独立採算が求められるものである。水道事業を継続させていくためには、適切な水道料金に改め、持続可能な事業として存続させる必要がある。令和6年度の料金改定を目指し、作業を進めている。

A Q

田んぼダムの取組状況は令和4年度に、清沢地区32ha空所地区15ha合計47haの水田にV字せき板を設置し調査した。その結果、一時的に雨水を貯留し一気に水路への流出を抑制する効果があることが確認できた。令和5年度も農家の協力を得ながら、新たに田苗真土地区16・5ha大江地区11・7ha加茂地区12haの合計40・2haで取り組む予定である。



田んぼダム候補地の水田 (宇和町田苗真土地区)

一般質問



中村 一雅

Q 令和5年度の当初予算編成にあたり苦慮した点は

A 当初の編成で18億円の財源不足が見込まれ、その対応に苦慮した。

まず事業の積算内容を精査し事務経費は必要最低限とした。次に既存の補助金事業について再整理を行い、特別会計・企業会計への繰り出しも可能な限り削減した。次に市債事業について金額の抑制、事業年度を見直した。歳入においては特定目的基金の活用、決算実績に応じた市税の計上を行い財源不足を解消した。

一般質問



和気 数男

Q 就学援助制度の概要について

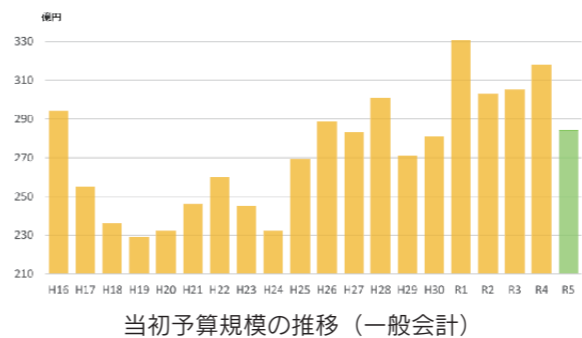
A 学校教育法19条に基づき、経済的理由により就学が困難で支援が必要な児童生徒などの保護者を対象として、学用品費や学校給食費等の支援を行い、教育機会の均等を図る制度である。

Q 支援を受けられる基準額

A 本市の認定基準額の算定は、生活保護法の保護の基準額に基づき、生活扶助、住宅扶助、教育扶助、生業扶助に、障がい者加算、児童養育加算、母子加算を各世帯の状況に応じ合計し、年額に算定した額に1.3を掛けた額を判断基準額としている。この額を世帯の合計所得

A Q

今後の財政運営は非常に厳しい財政状況を改善するため将来の公債負担を軽減することが最大の課題。起債事業の削減、年度間の平準化等中長期的な公債費の削減を図る。大型事業が終わる令和6年度を区切りとして、毎年度25億円の枠設定を行う。また、財政調整基金への依存度を低くするため既存事務事業を思い切って見直し、適正な収支バランスに基づく予算規模(270億円)の実現に努める。



当初予算規模の推移 (一般会計)

額が下回る場合に認定となる。

Q 保育士の63%は会計年度任用職員で占めているが、正職員を配置する考えはないのか

A 正職員の配置については、退職者に対し随時補充という計画であり、今後もそのように進めていきたい。



野村保育所 (野村町)

きかせて！あなたの夢



西予市の中学生が将来の夢を語るコーナーです。



いせき こうが
井関 浩雅さん（宇和中学校3年）

僕の将来の夢は、消防士になることです。消防士の仕事は、常に危険と隣り合わせです。命を懸けて人命救助や消火活動をしなければなりません。消防士の父からも、とても大変な仕事だと教えてもらいました。

今の僕にできることは、将来の夢を叶えるために、学校での勉強と運動にしっかりと取り組むことです。また、自分のことだけでなく皆のことも考えて行動できるよう、チームワークを身に付けたいです。そして、4歳から続けている水泳で、今年は四国総体に出場し、高校ではインターハイ出場を目標に、仲間と一緒に毎日の練習に励みたいと思います。

将来、学校やスイミングで身に付けた精神力と体力で、人の役に立てる消防士に必ずなります。

議会レポート 令和4年度愛媛県市議会観光振興議員連盟広域観光推進研修会

この研修会は、県内11各市の観光振興を推進するために必要な知識の習得を目的に毎年開催している。

令和4年度研修会は、令和5年1月23日月曜日に宇和島市立南予文化会館において開催された。宇和島市シティセールスアドバイザーの徳山大毅氏から、これからの観光情報コミュニケーションについて講演を受けた。

西予市の観光振興に繋がるよう、研修で得たものを活かしたい。



編集後記

今回は、高校生との意見交換会や議員が注目する当初予算をメインに取り上げさせていただきました。少しでも興味を持って頂けたなら嬉しいのですが、いかがだったでしょうか。

紙面の中にもありませんように、視察等も行った良いものは取り入れて、これからも読みやすく興味を持てる議会だよりになる様努力してまいります。

井関 陽一

◎編集委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 中村 一雅 |
| 副委員長 | 源 正樹 |
| 委員 | 和気 数男 |
| | 宇都宮久見子 |
| | 加藤 美香 |
| | 山本 英明 |
| | 井関 陽一 |

